

1. 授業科目名	【選択必修】『子どもの心』をはぐくむための関わり方		
2. 担当教員名	岩橋 宗哉・吉岡 和子		
3. 授業の概要	<p>私たちが一人ひとりの子どもの教育ニーズに応じて行くためには、「指導的な関わり」と同時に「援助的な関わり」が必要である。その2つの関わりは互いに補い合いながら私たちの教育的な関わりを形作っている。</p> <p>しかし、子どもたちへの関わりがうまくいかないと感じる時、私たちは、往々にして、私たちの視点から「指導的な関わり」のみを強めがちである。</p> <p>「援助的な関わり」とは、子どもたちの視点に立って、子どもたちが様々な場面で出会う問題状況や課題をどのように感じているのを理解し、彼ら自身が解決していけるように関わることである。</p> <p>この授業は、ワークにおける体験を通して、『子どもの心』をはぐくむための援助的な関わり方の重要性を再認識する機会となることを目指している。</p>		
4. 到達目標	『子どもの心』をはぐくむための援助的な関わり方の重要性を自らの体験を通して再認識する。		
5. 授業内容・授業方法等	コマ	授業内容	授業方法
	1	「こころ」とは 「はぐくむ」ことについて 「指導的関わりと援助的関わり」 「はぐくむ関わり」の視点	講義
	2	「話し手の体験を想像すること」	講義とワーク
	3	「聴くことの大切さを学ぶ」 「聴いてもらうことの良さを体験する」 気になる子どもについてシェアリングする。 話し手と聴き手を体験し、どのようなかわりが話し手にとって役立つかを考える。	ワーク
4	【試験】		
6. テキスト・参考文献等	当日配布します。		
7. 成績、評価方法・基準	<p>試験内容：①穴埋め式(20点)②記述式(30点)③自由記述(50点) 計100点</p> <p>※①②は講義内容を整理する目的、③はワークの体験を通しての考察を記述し、体験学習をまとめる目的で行います。</p> <p>基準：90点以上=A、80点～90点=B、70点～80点=C、60点～70点=D、60点未満=不合格</p>		
8. 特記事項			